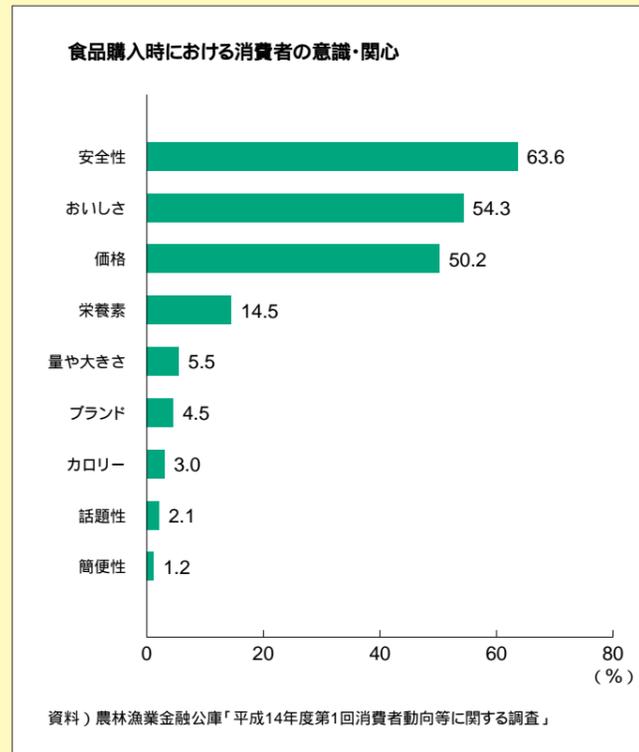
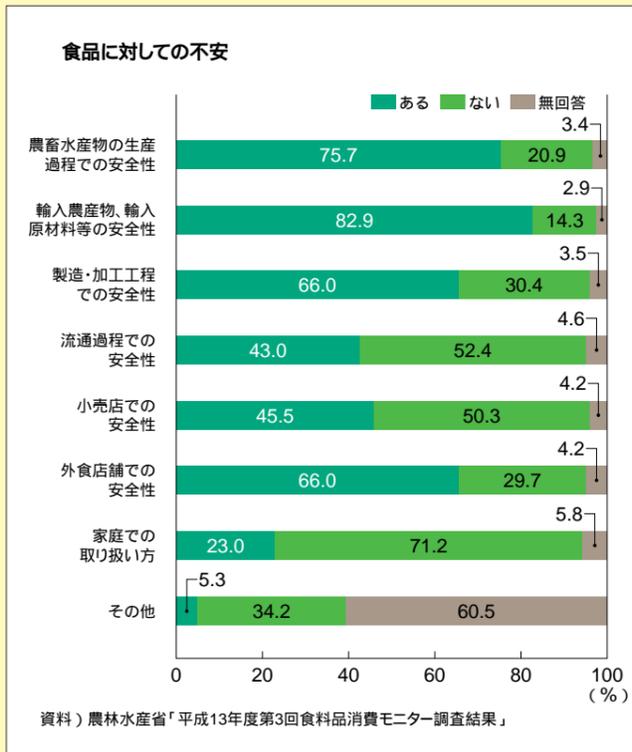


安全安心な食品に対する消費者の関心は高くなっています。

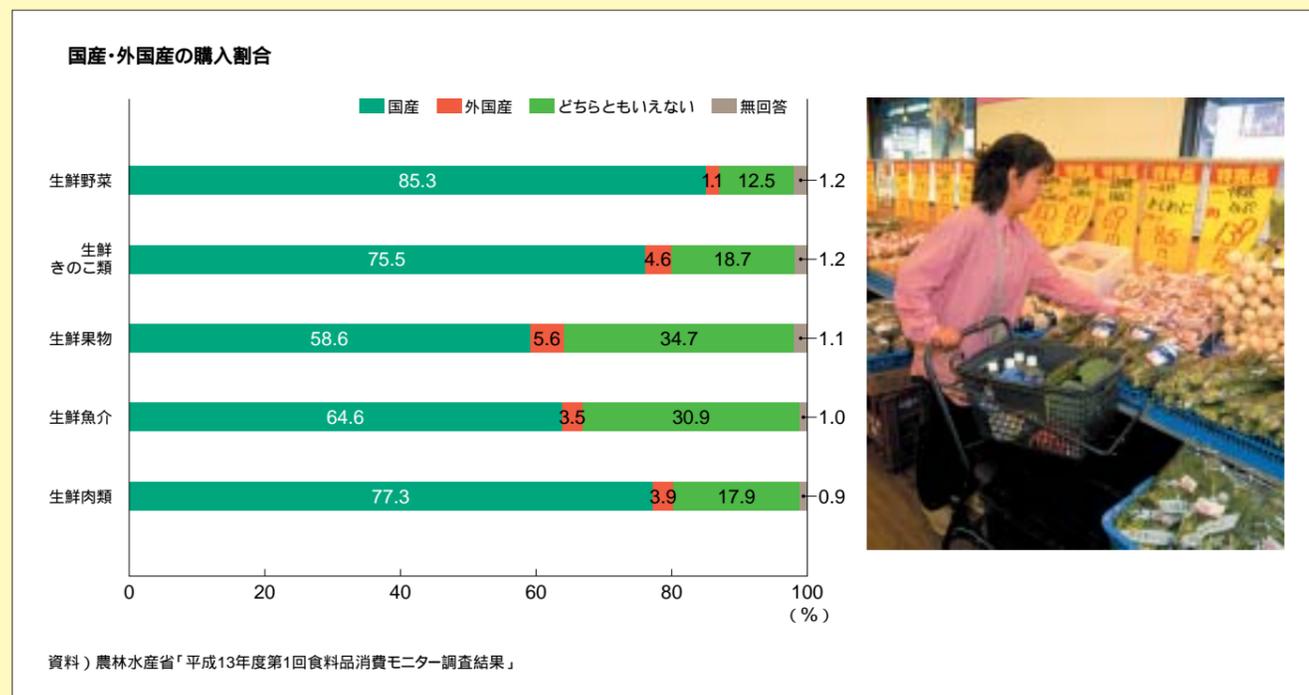
食品購入時に、おいしさや価格より安全性を意識する人が多くなっています。



また、食品に対する不安として、「輸入農産物、輸入原材料等の安全性」、「農畜水産物の生産過程での安全性」が多くなっています。

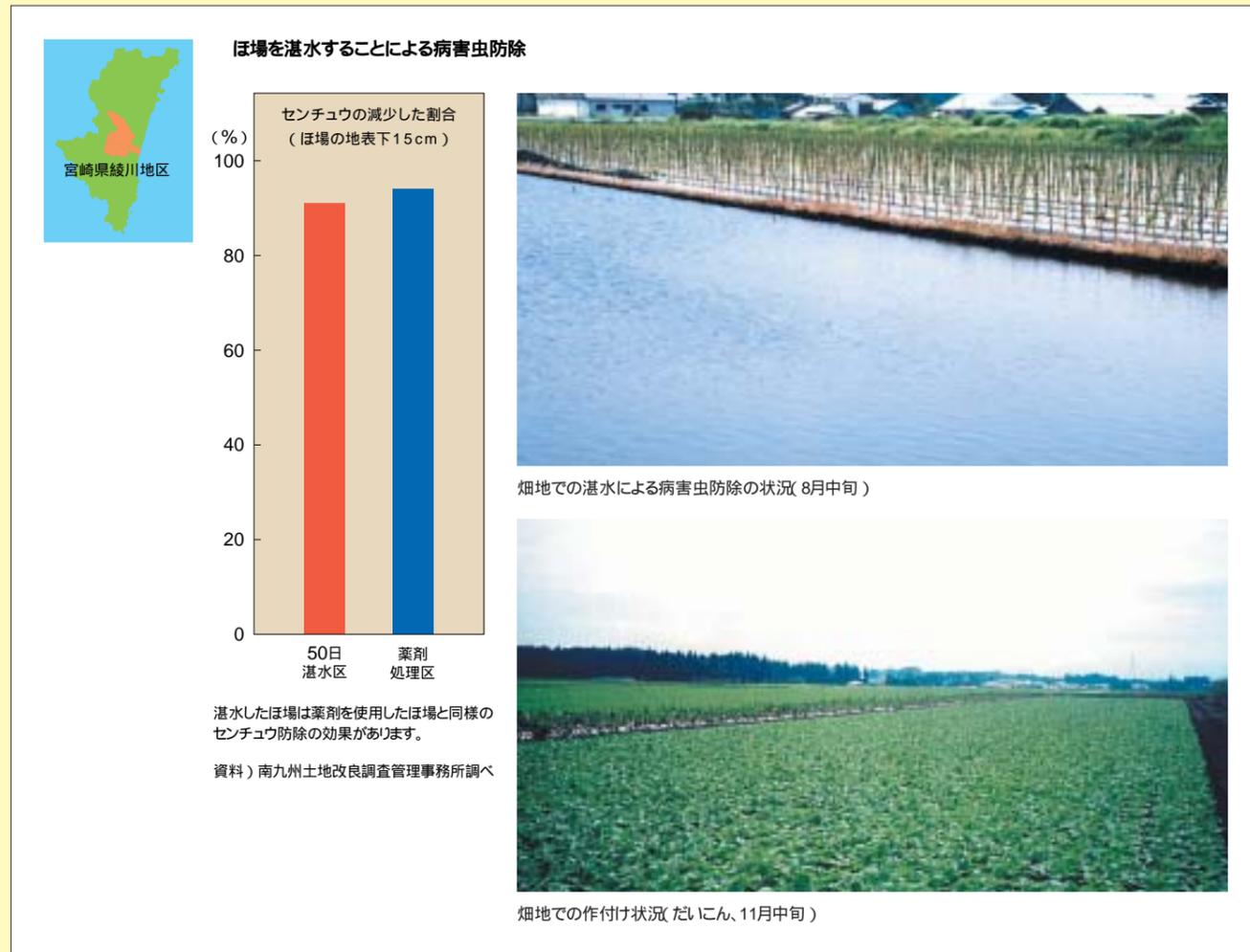


生鮮食品の購入割合では、国産を選ぶ方が多く、特に生鮮野菜では約85%が国産を選ぶとしています。



環境に配慮しつつ、安全な農産物を生産する技術も取り入れています。

宮崎県綾川地区の整備された畑では、土壤中に生息する畑作物の害虫「センチュウ」を、農薬の代わりに、畑に水を満たしておくことで減少させる営農を行っています。



水田では、地下かんがい(土中のパイプから給水すること)によって肥料や農薬の流出が抑えられ、農薬等の効率的な使用につながります。

